

しょうぶひらだいいせき 菖蒲平台遺跡

秦野市No.138

- 調査期間** 2017年6月16日～7月15日
- 所在地** 秦野市菖蒲外
- 時代** 近世、奈良・平安、弥生、縄文、旧石器
- 調査原因** 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** 秦野市北部横野地区、東に四十八瀬川、西に濁沢に挟まれた台地上、渋沢駅の西側約2.4kmに位置する。



主な調査成果

菖蒲平台遺跡は、新東名高速道路（菖蒲地区）建設に伴い、平成28年度は4ヶ月間・平成29年度は1ヶ月間調査を実施しました。

旧石器時代の調査では、細石刃と呼ばれるカミソリの刃のような石器と、細石刃を剥離した細石刃核が、多数発見されました。これらの石器は、6カ所の石器集中（ブロック）を成して分布しており、台石や叩石を伴っていました。恐らく、石器製作跡であったと考えられます。



旧石器時代石器出土状況



菖蒲平台遺跡旧石器時代出土石器
(上3段：細石刃、下2段：細石刃核)